和歌山県庁舎建設 80 周年記念シンポジウム

和歌山県庁舎をつくった人びと

12/24

平成 30 年 12 月 24 日（月・祝）14:00 -16:30

国の登録有形文化財 5 周年記念日

参加無料
申込み不要
先着 100 名様に記念絵葉書贈呈

和歌山県立近代美術館 2 階ホール

和歌山市吹上 1 丁目 4-14

定員 120 名

共催　和歌山県教育委員会・一般社団法人和歌山県建築士会

協力　和歌山県立文書館・和歌山県立近代美術館

問い合わせ　和歌山県教育庁文化遺産課　Tel 073-441-3738

和歌山県庁舎建設 80 周年記念シンポジウム

和歌山県庁舎をつくった人びと

和歌山県庁舎は昭和 13 年（1938）に建設され、本年建設 80 周年を迎えました。近年には新たな資料も発見され、建設当時の状況が次第に明らかになってきました。80 周年の節目に、建設に携わった「人」を軸として県庁舎建設を振り返るとともに、その価値や意義と近代建築の保存活用について考えます。

【基調講演】

和歌山県庁舎の歴史と魅力　　中西重裕（和歌山県建築士会）

【個別報告】

和歌山県技師松田茂樹　　高垣晴夫（和歌山県建築士会）

増田八郎の生涯と寄贈された資料　藤　隆宏（和歌山県立文書館）

和歌山県庁舎の建築図面　　河崎昌之（和歌山大学）

県庁舎を飾った芸術家保田龍門　　井上芳子（和歌山県立近代美術館）

県庁舎を造る　　御船達雄（和歌山県教育委員会）

【パネルディスカッション】

司会　　明石和也（和歌山県建築士会）

パネリスト　井上芳子、河崎昌之、高垣晴夫、藤隆宏、中西重裕、御船達雄

設計者たち　東京帝国大学にて
下段中央右が県庁設計者の増田八郎、右端が内田祥三教授

保田龍門「高倉下命」階段レリーフ
（和歌山県立近代美術館蔵）

県庁舎建設中　庁舎上部のテラコッタ取り付け
特記なき古写真は全て和歌山県立文書館蔵

国登録文化財　和歌山県庁舎本館

所　在	和歌山市小松原通一丁目１番地
構　造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造 4 階建
延床面積	10,344.58 ㎡ (竣工時)
竣　工	昭和 13 年 (1938)3 月 31 日
建築顧問	内田祥三（東京帝国大学教授）
設　計	増田八郎（和歌山県技師）
施　工	株式会社清水組（現清水建設）

建設中の議場の前でポーズをとる職人たち